

2020年度 専修大学経営研究所 第3回定例研究会

「ラオス簿記検定試験の実施計画」

2020年12月8日(火)13時～14時
【Zoomによるオンライン開催】

国田清志(専修大学商学部教授)・経営研究所大型助成研究代表者

本報告には、共同研究グループの見解の他に、報告者個人の意見も含まれている部分がある。
この点については報告者の責任による。

2020年度経営研究所大型研究助成(2020年4月1日～2021年3月31日)

＜共同研究者＞

伊藤和憲(商学部教授)・菱山淳(商学部教授)・青木章通(経営学部教授)

令和2年12月8日専修大学経営研究所第3回研究会

研究助成「研究課題」 ラオスにおける会計教育の充実に関する研究 ー学習教材開発とその効果性の検証ー

□研究の概要

ラオスにおいてどのような教材を用いれば効果的な会計教育が可能となるのかという視点にもとづき、ラオ語による簿記検定試験の学習教材をレベル別に開発し、その効果を現地での試験を実施することを通じて検証することが目的である。

＜当初の2020年度の予定＞

◇ラオ語のテキストの草案(初級レベル)

- ・現地での講習会で教材として使用し、学習効果を検証(アンケート・インタビュー調査)
- ・草案にフィードバック

◇ラオスでの簿記検定試験の実施

- ・現地での試験実施し、多面的な学習効果を検証(アンケート調査)

簿記検定試験プロジェクトの実施計画(当初)

<スケジュール>

- ・簿記のプロモート(10月から2月)
- ・テキストのプリント(11月)
- ・講習会①(12月)
- ・申込みの開始(1月)
- ・講習会②(1月)
- ・簿記検定試験(2月)
- ・認定書交付(3月から4月)

◆現時点で、ラオス商工会議所における12月の講習会の予定は組まれていない。リスケジュールの必要がある。

LNCCI(ラオス商工会議所)の役割

- ・簿記検定試験のプロモート(私企業や公企業、大学への簿記の有用性)
- ・川崎商工会議所と協力して、ラオスにおける日系企業などにプロモート
- ・簿記検定試験の実施(広告をはじめ、会場設営や問題印刷など)
- ・簿記の講習会(初級・中級・上級)の実施
- ・講習会や検定試験の実施や規模(地方会場の増設)の拡大

◆簿記検定試験の実施主体は、ラオス商工会議所である。

検定実施に伴うコストはLNCCIの負担であるが、検定料収入やテキスト販売などの収入もLNCCIが享受する。
能力検定であることのさらなる理解が必要である。

NUOL(ラオス国立大学)の役割

- ・簿記検定試験の問題の準備とLNCCIのチェックやサポートする。
- ・トレーナーとして講習を担当する。
- ・簿記検定試験と合格証明書のメリットを教育機関に宣伝する。
- ・専修大学と協力して、初級レベルと中級レベルの簿記テキストを作成する。
- ・簿記検定試験の採点などの責任を負う。

◆ラオス国立大学が、教育カリキュラム上、どのように簿記検定試験を取り込むのかは重要である。

なお、専修大学では、日本商工会議所の簿記検定試験は・・・

簿記検定試験の要領 I

第1回の簿記検定試験

- ・場所: LNCCI会議室(首都ビエンチャンの1会場のみ)。
- ・定員: 200名
- ・料金: 学生は100,000KIP、一般は150,000KIP ※日本円で学生1,200円、一般1,700円程度。
- ・時間: 60分～90分
- ・言語: ラオ語
- ・レベル: 初級のみ実施
- ・合格ライン: 100点中60点以上

◆初級レベルは4つのテーマ(商簿系: 仕訳・試算表、工簿系: CVP分析・原価計算)がある。

試験時間の区分や配分に調整が必要。

簿記検定試験の要領Ⅱ

- ・証明書の提供：LNCCI（ラオス商工会議所）、NUOL（ラオス国立大学）、MOF（財務省）の署名。
- ・証明書の有効性：
 - 会社員、従業員、事務員、一般の人は職場での評価に影響し、所得の増加の可能性がある。
 - 学生は就職活動やより高い給与水準の業務を得ることができる可能性がある。
 - ラオス国立大学の会計専攻の学生はXayphone教授の講義の成績評価の際に加点される。
 - その他の科目についても加点が考慮される可能性がある。
 - 中小企業は借入れのために銀行や金融機関に優先的にアクセスできる可能性がある。

◆会員企業や現地の日系企業に呼び掛けて、合格証明書の評価を促す活動を続ける必要がある。

LNCCI・NUOL・MOFの署名の効力はどのくらいのものなのか分からないが・・・

簿記テキストの現状と問題点①

- ・簿記テキスト（初級）の進捗状況
 - 4つのテーマのテキストのラオ語への翻訳は終え、Xayphone先生のチェックも終了。
 - ただし、図表などの修正が必要な個所が若干ある。
 - まだテキスト冊子としての体裁はできていない（はじめにや目次など）。
- ・テキストとしての形をタイプ別に決める必要がある。
 - ラオス商工会議所としての簿記検定試験のテキスト（ラオスにおける書籍）：書籍化のみ？
 - 講習会で使用するテキスト：？

◆日語・ラオ語だけでの翻訳チェックが双方困難であるので、英語翻訳を追加することで調整を図る必要がある。

簿記テキストの現状と問題点②

- ・12月中に初級レベルの簿記テキストの完成の見通しを立てる必要あり。
研究資料としての冊子にまとめるところまでは・・・
 - ・中級レベルの簿記テキストは、現在、2020年度内の3月までの完成を予定。
予算の関係で翻訳作業などを考えると、2月中を目途に進めていく必要あり。
 - ・模擬問題の作成と翻訳作業は年内に完了予定。
4つのテーマからの問題を組み合わせたワンセットを組んでみる必要あり。
- ◆プロジェクト成果の研究資料として、書籍化とは別に、いったん年度内に冊子形式にまとめる必要がある。

ラオスでの講習会への対応(専修大学からのアプローチ)

- ・2019年9月にラオス(ラオス商工会議所)で簿記講習会を実施した。
講 師:伊藤和憲教授(専修大学商学部)
テーマ:CVP分析 ※初級テキストの4つのテーマのうちの1つ
時 間:70分
方 式:ラオ語の同時通訳を挟んだ講義形式
調 査:講義終了後に理解度の確認のためのクイズ形式問題とアンケート調査
- ◆簿記の必要性をテーマごとにラオスの人々に理解してもらうことが重要である。
講習会によるアンケート調査が効果測定やテキストの改善へのフィードバックに不可欠である。
上記の講習会を含めた研究成果は2019年12月の経営研究所『専修マネジメント・ジャーナル』に掲載。

日本の簿記検定試験の現状(コロナ禍における変化)

- ・日本では各年度の6月(3級・2級・1級)、11月(3級・2級・1級)、2月(3級・2級)の簿記検定試験が実施されてきた。
- ・2018年4月に「原価計算初級」(ネット試験方式)を創設して全国のネット試験会場で随時施行してきたが、受験者は伸び悩んでいた(多くなかった)。
- ・今回のコロナなどの各種感染症の拡大や大規模自然災害が発生しても、継続的・安定的に試験実施が可能となる体制を構築するために、これまでの実施・運営方式にとらわれず、社会変化に対応したIT化・デジタル化を基盤とする新たな試験実施の仕組みを導入し、統一試験の補完的位置づけとして、受験者数の多い2級と3級にネット試験方式を導入することになった。(<https://www.kentei.ne.jp/31498>)

◆今回のネット試験方式の導入は、あくまでもこれまでの検定試験の補完的なものとしての位置づけである。

現在の簿記検定試験の社会的評価を考えると、進学や就職などについてはかなり影響を与えるものであると考える。

ネット試験方式による合格の効果性はこれから測定されるものであるが・・・

簿記検定試験のオンライン化①

- ・施行開始
2級: 2020年12月21日(月)より随時
3級: 2020年12月14日(月)より随時
- ・試験会場
商工会議所が認定した約全国100カ所の「テストセンター」(限定会場)で実施。自宅での受験は不可。
- ・東京や神奈川のケースでは・・・
(<https://cbs.com/examinee/testcenter/?type=jcci&name=%E6%97%A5%E5%95%86%E7%B0%BF%E8%A8%98&testpgid=&or=2249>)
※毎日試験を実施する会場もあり、現時点で、全国で月間2万名程度の受験を想定。

◆ネット試験方式の申込自体は、今年度6月の検定試験が全国的に中止になっていたもので、申し込みが殺到。

簿記検定試験のオンライン化②

- ・試験時間
2級: 90分(現行統一試験方式120分)
3級: 60分(現行統一試験方式120分)
- ・出題範囲
現行出題区分表を適用。出題形式は若干の変更(<https://www.kentei.ne.jp/32233>)。
- ・受験料(税込)
2級: 4,720円(統一試験方式と同額)
3級: 2,850円(統一試験方式と同額)
- ・合否基準
2級: 70点以上(統一試験方式と同様)
3級: 70点以上(統一試験方式と同様)

◆即時判定によって、試験終了後にスコアレポートが配布される。合格者はQRコードからデジタル合格証が取得可。

ラオスにおける簿記プロジェクトのこれから

■簿記テキストの開発と講習会との関係

- ・学習教材開発とその効果性の検証のためには、書籍化の前に講習会を実施することが重要であるとする。
- ・簿記の普及や中級レベルや上級レベルのテキスト教材の開発にも役立つ。

■ラオスに渡航して講習会ができない場合、他の方法を検討する必要がある。

日本からのオンラインによるライブ講習会やデマンド動画配信も・・・

■ラオスの簿記検定試験をペーパー方式で実施するにあたって

日本におけるネット試験方式で良いと評価できる部分は積極的に取り込んでいけば効率的な検定試験の仕組みをスタート時点から設計できる可能性がある。

本日はご清聴ありがとうございました。
